

2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 日東工器株式会社

上場取引所 東

 コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理統轄 (氏名) 森 憲司 TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,941	0.3	1,758	1.3	1,861	3.2	1,311	1.4
2023年3月期第2四半期	13,986	13.3	1,782	4.5	1,922	12.1	1,293	6.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,264百万円 (4.3%) 2023年3月期第2四半期 2,171百万円 (49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	66.16	
2023年3月期第2四半期	63.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	67,522	59,024	87.4	2,986.07
2023年3月期	66,835	57,971	86.7	2,886.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 59,014百万円 2023年3月期 57,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		24.00		29.00	53.00
2024年3月期		28.00			
2024年3月期(予想)				34.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,380	8.1	4,120	12.4	4,230	10.8	2,950	12.4	146.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	21,803,295 株	2023年3月期	21,803,295 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	2,039,996 株	2023年3月期	1,723,596 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	19,825,380 株	2023年3月期2Q	20,288,899 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州における地政学リスクの長期化や金融引き締め政策、中国経済の減速等の影響を受けて緩やかに景気は減速しています。日本経済は、経済活動の正常化や賃上げ、財政・金融政策を背景に内需を中心に消費や投資が回復傾向にあります。円安や原材料価格高騰の影響を色濃く受けております。

このような経営環境の中で、当社グループは、当第2四半期連結累計期間における売上高は139億41百万円となり、前第2四半期連結累計期間139億86百万円と比較すると、0.3%の減収となりました。利益面では、営業利益は17億58百万円となり、同17億82百万円と比較すると1.3%の減益、経常利益は18億61百万円となり、同19億22百万円と比較すると3.2%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億11百万円となり、同12億93百万円と比較すると1.4%の増益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、リチウムイオン電池の電解液向け製品及び半導体向け製品の需要減少のため、売上高は59億56百万円（前第2四半期連結累計期間比5.8%の減収）となりました。利益面では、減収により、営業利益14億73百万円（同4.4%の減益）となりました。

機械工具事業は、対面営業を再開できたことで国内外の売上げが回復基調にあり、売上高は45億62百万円（同6.7%の増収）となりました。利益面では、増収により、営業利益3億43百万円（同15.4%の増益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、昨年の価格改定前の駆け込み受注の影響により国内外とも需要が減少、売上高は22億83百万円（同0.4%の減収）となりました。利益面では、減収及び原価率の増加、為替の影響により、営業損失42百万円（前第2四半期連結累計期間は35百万円の営業損失）となりました。

建築機器事業は、国内の公共建設投資が堅調に推移し、売上高は11億39百万円（同4.3%の増収）となりました。利益面では、営業損失15百万円（前第2四半期連結累計期間は21百万円の営業損失）となりました。

海外売上高は、主に中国でのリチウムイオン電池の電解液用迅速流体継手の売上げが減少したことにより、47億41百万円（前第2四半期連結累計期間比2.9%の減収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は34.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、675億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億87百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は、486億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億89百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少12億74百万円、受取手形及び売掛金の減少1億53百万円、電子記録債権の減少42百万円、有価証券の増加4億99百万円、商品及び製品の増加4億3百万円、原材料及び貯蔵品の増加3億25百万円等によるものであります。

固定資産は、188億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億76百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加5億57百万円、無形固定資産の増加1億9百万円、投資有価証券の増加4億28百万円、繰延税金資産の減少1億23百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は、40億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億66百万円の減少となりました。これは主に買掛金の減少3億52百万円等によるものであります。

固定負債は、44億60百万円となり、前連結会計年度末と比較して同水準となりました。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、13億11百万円でしたが、配当金の支払い5億82百万円があったため、利益剰余金は、7億29百万円の増加で566億52百万円となりました。また、自己株式の増加6億27百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億2百万円、為替換算調整勘定の増加6億28百万円等があったため純資産の部は、590億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億53百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました「2023年3月期決算短信」から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,925	25,651
受取手形及び売掛金	4,139	3,986
電子記録債権	3,096	3,053
有価証券	4,899	5,399
商品及び製品	5,405	5,809
仕掛品	375	452
原材料及び貯蔵品	3,371	3,697
その他	721	596
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	48,933	48,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,403	11,478
減価償却累計額	△6,781	△6,947
建物及び構築物(純額)	4,622	4,530
機械装置及び運搬具	4,657	4,878
減価償却累計額	△3,645	△3,835
機械装置及び運搬具(純額)	1,012	1,042
工具、器具及び備品	7,568	7,690
減価償却累計額	△7,000	△7,129
工具、器具及び備品(純額)	567	560
土地	3,331	3,835
リース資産	2,759	2,820
減価償却累計額	△1,166	△1,235
リース資産(純額)	1,592	1,584
建設仮勘定	351	481
有形固定資産合計	11,477	12,035
無形固定資産		
その他	1,694	1,803
無形固定資産合計	1,694	1,803
投資その他の資産		
投資有価証券	3,235	3,664
長期貸付金	26	23
繰延税金資産	1,175	1,051
その他	307	315
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,729	5,039
固定資産合計	17,901	18,878
資産合計	66,835	67,522

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,348	995
リース債務	272	277
未払法人税等	621	686
賞与引当金	586	626
役員賞与引当金	46	23
その他	1,527	1,427
流動負債合計	4,403	4,037
固定負債		
リース債務	1,483	1,451
退職給付に係る負債	2,433	2,441
役員退職慰労引当金	151	172
資産除去債務	30	30
その他	361	364
固定負債合計	4,460	4,460
負債合計	8,863	8,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	55,922	56,652
自己株式	△3,264	△3,892
株主資本合計	56,432	56,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	879	1,182
繰延ヘッジ損益	△7	△7
為替換算調整勘定	783	1,411
退職給付に係る調整累計額	△126	△106
その他の包括利益累計額合計	1,529	2,480
非支配株主持分	9	10
純資産合計	57,971	59,024
負債純資産合計	66,835	67,522

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	13,986	13,941
売上原価	7,574	7,382
売上総利益	6,411	6,558
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,238	1,312
賞与引当金繰入額	316	319
退職給付費用	99	103
役員退職慰労引当金繰入額	16	20
販売促進費	112	105
研究開発費	535	530
その他	2,309	2,408
販売費及び一般管理費合計	4,629	4,799
営業利益	1,782	1,758
営業外収益		
受取利息	13	21
受取配当金	44	45
為替差益	45	30
受取家賃	22	21
その他	37	30
営業外収益合計	163	149
営業外費用		
支払利息	17	18
自己株式取得費用	-	24
その他	4	4
営業外費用合計	22	46
経常利益	1,922	1,861
特別利益		
補助金収入	-	147
特別利益合計	-	147
税金等調整前四半期純利益	1,922	2,008
法人税等	628	696
四半期純利益	1,294	1,312
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,293	1,311

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,294	1,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	302
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	890	628
退職給付に係る調整額	16	20
その他の包括利益合計	877	951
四半期包括利益	2,171	2,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,170	2,263
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,922	2,008
減価償却費	628	616
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△42	38
受取利息及び受取配当金	△57	△66
補助金収入	-	△147
支払利息	17	18
売上債権の増減額(△は増加)	△533	259
棚卸資産の増減額(△は増加)	△455	△548
仕入債務の増減額(△は減少)	146	△381
未払消費税等の増減額(△は減少)	53	△37
その他	△47	77
小計	1,633	1,837
利息及び配当金の受取額	62	68
利息の支払額	△17	△17
補助金の受取額	-	147
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△676	△598
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,002	1,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,061	△16,321
定期預金の払戻による収入	16,455	14,214
投資有価証券の取得による支出	△15	△14
有価証券の償還による収入	1,100	-
有形固定資産の取得による支出	△315	△909
無形固定資産の取得による支出	△94	△191
その他	0	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△931	△3,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△627
配当金の支払額	△334	△582
リース債務の返済による支出	△150	△146
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485	△1,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	221	164
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△192	△2,984
現金及び現金同等物の期首残高	14,781	20,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,588	17,418

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年2月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式316,400株の取得を実行しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が627百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が3,892百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,325	4,276	2,291	1,092	13,986
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	6,325	4,276	2,291	1,092	13,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,325	4,276	2,291	1,092	13,986
セグメント利益又は損失 (△)	1,541	297	△35	△21	1,782

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,956	4,562	2,283	1,139	13,941
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	5,956	4,562	2,283	1,139	13,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,956	4,562	2,283	1,139	13,941
セグメント利益又は損失 (△)	1,473	343	△42	△15	1,758

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。